

製品名: Met (c-Met) ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86342

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:2000,ICC/IF 1:500-1:1000,FC 1:200-1:500
分子量	Calculated MW:156 kDa; Observed MW:170,140 kDa

抗原情報

遺伝子名	Met (c-Met)
別名	HGFR; AUTS9; RCCP2; c-Met; DFNB97
遺伝子 ID	4233
SwissProt ID	P08581
免疫原	ヒト Met の組み換えタンパク質 (c-Met)

背景

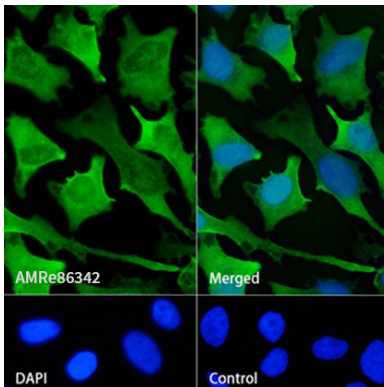
この遺伝子は、受容体チロシンキナーゼファミリーに属するタンパク質をコードし、プロトオンコジーン MET の産物です。コードさ

れているプレプロタンパク質は、タンパク質分解によって α サブユニットと β サブユニットに分解され、ジスルフィド結合を介して結合して成熟受容体を形成します。 β サブユニットのさらなる処理により M10 ペプチドが形成され、これは肺線維症を軽減することが示されている。そのリガンドである肝細胞増殖因子との結合は、受容体の二量体化と活性化を誘導し、細胞の生存、胚発生、細胞の移動および浸潤に関与する。この遺伝子の変異は、乳頭状腎細胞癌、肝細胞癌、および様々な頭頸部癌と関連している。また、この遺伝子の増幅および過剰発現は、複数のヒト癌とも関連している。[RefSeq 提供、2016 年 5 月]

研究分野

-

画像データ



Met (c-Met) ウサギモノクローナル抗体を使用して Met (c-Met) を標識した HeLa 細胞の免疫蛍光分析。